

大学に何を求めるのか ～現状と使い方～

林 篤裕

(実践女子大学 人間社会学部)
e-mail: hayashi-atsumuro@jissen.ac.jp



資料掲載URL: statds.shop/haifu/#Shimo2509B



2. 本日の目的

- ◆ 大学に何を求めておられますか?
 - ◆ 深い研究テーマ? ◆ 友達? ◆ 就職?
 - ◆ 特定の知識? 技能? ◆ 資格? ◆
- ◆ どのように捉えておられますか?
 - ◆ 高大接続の動向・現状
 - ◆ 大学という学校の特徴、面白さ
 - ◆ 大学で何ができるのか? 利用方法
- ◆ 教育を考えたときの「参考情報の提供」になれば
 - ◆ 現状をご紹介できれば
 - ◆ 各自で and/or ご家庭でお考えいただく際に

ご紹介する話題

- 高大接続を取り巻く状況
- 選択することの苦悩
- 大学という学校とその使い方
- 高等学校の課題、大学の課題
- 次代を担う若者に思うこと

A1. 近年の動向: 多面的・総合的入試

状況1
世界の潮流

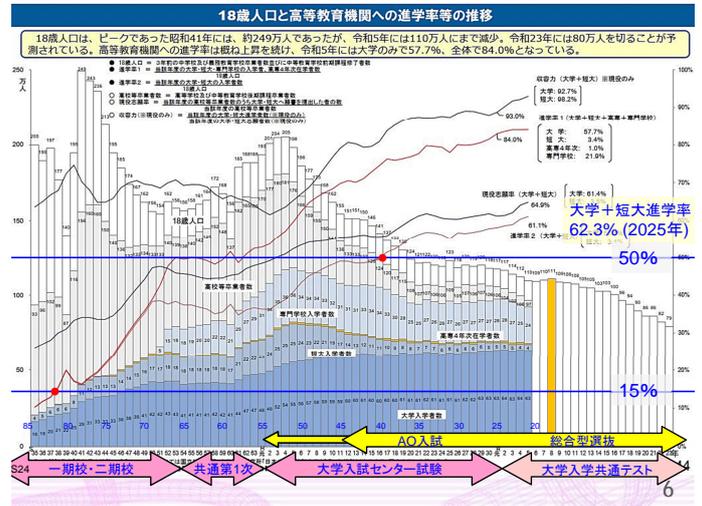
グローバル化社会に向けて

- ◆ グローバル化社会
 - ◆ 人、モノ、カネ、制度(教育を含む)が一体となって世界を巡る流動・競争社会
 - ◆ 世界的な教育の質保証:
 - ボローニャ・プロセス(ヨーロッパ)
 - インターナショナル・バカロレア(IB)
 - アクレディテーション(Accreditation, 適格認定)
- ◆ 知識社会から論理思考社会へ
 - ◆ 外から知識を獲得できていた時代から新しいことを生み出す必要のある時代へ
 - ◆ 単なる「知識再生だけ」では対応できない社会
 - ◆ このような時代を生き抜く人材の育成

超ユニバーサルな高校教育・ ユニバーサルな高等教育の質保証

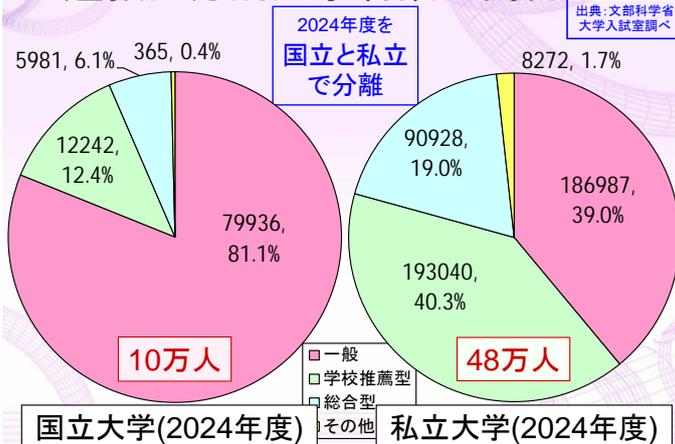
状況2
日本の状況

- ◆ 米国の社会学者マーチン・トロウ(Martin Trow)の定義:
 - ◆ 15%まで: エリート段階
 - ◆ 15%-50%: マス段階
 - ◆ 50%以上: ユニバーサル段階
 - だれもが進学する「機会」が保証されている状態
- ◆ 高校への進学率=99%: 事実上の義務教育化
 - ◆ 普通科、専門学科(職業科)、総合学科
 - ◆ 「多様化」の名の下にあらゆる層が入学してくる時代
=>> 卒業させる必要性、高校教育に歪み、質保証
- ◆ 大学+短大への進学率=62.3% (2025年)
- ◆ もう一様なルールでの議論・運用は困難では?



選抜区別別入学者数の割合

出典: 文部科学省
大学入試室調べ



C2. 「学び」としての高校と大学の違い

- ◆ 初等中等教育(小学校・中学校・高等学校)
 - ◆ 教える内容は普遍的・確立したものの。
 - ◆ 学習指導要領で規程: 全国統一
 - ◆ 「正しい知識を的確に獲得する学校」
- ◆ 高等教育(大学・大学院)
 - ◆ 「未知問題への挑戦」。正解が定まらない。
 - ◆ 教員と学生で協働して課題を解決していく学校
 - ◆ 「考える方法を獲得する学校」
 - ◆ 「視野を広げる場」=>> 将来の選択の幅にも繋がる